

# 自己点検・評価（令和2年度実施）結果

令和3年6月  
自己点検・評価委員会

## ▶ 根拠規定等

徳島大学自己点検・評価に関する実施要項により、自己点検・評価委員会は、推進責任者である理事・副学長が所掌する委員会等における内部質保証の状況を毎年度確認することとしている。

## ▶ 確認の方法

各委員会からの報告に基づき確認を行うことを原則とし、必要に応じて根拠資料等の提出を求め、点検・評価方法を含め内部質保証の状況確認を行った。

## ▶ 令和2年度の点検・評価の結果（総括）

推進責任者のもと、各委員会が定めた実施要項に基づき、点検・評価が実施されていること、また、検出された改善事項については、既に検討又は対応に着手されていることが確認できた。

自己点検・評価委員会では、各委員会等の点検・評価の結果、全学的視点により改善を要する事案について、役員会及び教育研究評議会に報告を行った。

### 《全学的視点により改善を要する事案》

#### ● 入学定員の充足率について

大学機関別認証評価（令和元年度受審）において、「医科学教育部修士課程医科学専攻、薬科学教育部博士課程薬学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている（0.70未満）」ことが「改善事項」として指摘されている。これら専攻の入学定員の充足率については、令和3年度に改善の兆しが見えているが、5年平均の充足率は依然として低く、引き続き改善に努める必要がある。そのため、医科学教育部及び薬科学教育部は、今後の具体的な対応策の計画と改善の見通しをまとめ、統括責任者である学長へ、令和3年12月28日（火）までに、報告を行うこと。

「改善事項」については、改善された状況にあると大学が判断した場合には、その状況を大学改革支援・学位授与機構の対応状況報告書によって、評価実施の翌年度（令和2年度）以降、各年度6月15日から6月30日の期間に報告することが義務づけられている。

なお、令和4年度には改善の有無にかかわらず報告義務があるため、令和3年度に対応が必要である。

#### 充足率の推移

	H29	H30	R1	R2	R3（春期）	5年平均
医科学専攻	0.60	0.50	0.50	0.60	0.90	0.62
薬学専攻	0	1.00	0.25	0.25	0.75	0.45

※充足率＝実入学者数／入学定員

### 《特記事項》

各委員会からの報告からは、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大という、未曾有の状況下にもかかわらず、オンラインの活用や多様な学生支援の実施など、本学学生の学びを止めることのないよう、教職員が必死に積み重ねてきた活動を垣間見ることができた。今なお収束が見えないコロナ禍ではあるが、教育研究活動がより充実するよう、今後とも教職員団結して乗り越えていくことを願う。

## ▶ 昨年度（令和元年度）の改善事項への対応状況

### ①教育の内部質保証について

大学教育委員会が中心となり、各学部・教育部における教育課程ごとの内部質保証（点検・評価及び改善）が進められているが、点検・評価項目については各学部・教育部に一任されている。

大学組織として内部質保証を進めていく観点から、大学教育委員会において年度ごとに重点的に点検・評価を実施する項目を定め、計画的な取組として実行していく必要がある。

#### 《対応状況》

令和2年度までは、点検・評価項目については各学部・教育部に一任していたが、令和3年度以降は、組織として内部質保証を進めていく観点から、「教育の内部質保証に関する方針等」を見直し、大学教育委員会において年度ごとに重点的に点検・評価を実施する項目を定め、計画的な取組として実行するように改善を図った。

令和2年度は、方針等の見直しが行われ、大学組織として内部質保証を進めていく体制が整備された。今後は見直し後の方針等に基づき計画的に内部質保証が進められることが期待される。

### ②入学定員の充足率について

大学機関別認証評価においても改善事項として指摘されている、大学院の入学定員の充足率について、継続的な検証及び対策の検討・実施を進めていく必要がある。

#### 《対応状況》

大学院の入学定員の充足率向上を目的とし、各教育部で掲載していた情報を集約し、受験生が情報を入手しやすいよう大学院ホームページを新たに構築し、令和2年10月より公開した。

令和2年10月における大学院の入学定員の充足率は、全体で見ると前年度の92.58%から94.35%と微増した。教育部毎で見ると前年度を下回っている教育部もあるため、引き続き定員充足について検証を進める。

#### 《自己点検・評価委員会所見》

大学院ホームページの新たな構築など、取組は進められているが効果が上がっているとは言い難い。検証を進めるだけでなく、検証結果を活用し、改善に繋げる努力を実施していただきたい。

### ③点検・評価の方法について

「徳島大学における内部質保証方針」の策定後、初めてとなる各委員会等における自己点検・評価の実施となり、点検・評価の観点が必ずしも適切とはいえない項目も見受けられることから、点検・評価方法についても継続的な検証を進めていく必要がある。

#### 《対応状況》

各委員会等において点検・評価の方法についても検証が行われ、方針等の見直しやアンケートの活用等、改善を図る取組が進められた。

#### 《自己点検・評価委員会所見》

大学教育委員会をはじめ昨年度の指摘を踏まえ、各委員会で内部質保証の考え方について理解が進んでいる。

引き続き、継続的な検証を進め、点検・評価方法を含めた内部質保証を実施していく必要がある。

◆大学教育委員会

点検・評価の項目
教育プログラムの点検・評価

◆施設・環境委員会

点検・評価の項目
耐震化の状況
バリアフリー化の状況
施設の安全性の状況（外灯の配置状況）

◆附属図書館運営委員会

点検・評価の項目
学術情報（資料）の整備状況
図書館の利用状況
図書館の施設・設備の整備状況
図書館に対する満足度の状況
その他必要と認められる事項（EDBの学術論文における機関リポジトリ登録率）

《特記事項》

▶学術情報（資料）の整備状況

書籍全般においては、幅広い分野の新しい専門書を整備するとともに、学生の自主学習を支援するために授業に関連する参考資料を授業サポートナビで紹介している。

また、学生のニーズに応えるために、学生購入リクエストやwebブックハンティングを継続して実施している。

▶EDBの学術論文における機関リポジトリ登録率

電子ジャーナルの価格高騰への対策及び科学技術・学術審議会や日本学術振興会においてオープンアクセスが推奨されている現状を踏まえ、特に学術雑誌論文の登録をより一層推進し、登録件数や割合ともに順調に増加している。

▶コロナ禍における対応状況

電子書籍へのトライアル参加や、新聞記事データベース、医療系データベース等の臨時リモートアクセスを導入するなど、オンライン利用の促進を行った。また、学生後援会補助事業の全額を電子書籍の整備に充当し、電子書籍の整備を拡充している。

館内では、体温検知システムの設置や換気設備の増設等の種々の対策を行っている。また、臨時休館中には郵送貸出サービスを実施した。

## ◆情報戦略室

点検・評価の項目
学内 LAN（学内ネットワーク）の整備状況
ネットワーク装置等の整備状況
教育への活用状況
セキュリティの状況
その他必要と認められる事項

### 《特記事項》

#### ▶ Microsoft365 サービス（メール等のクラウドサービス）における多要素認証導入

ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）更新審査において、「Microsoft365 サービスにおける多要素認証導入」が評価された。

また、リスク低減の取組として、テレワーク対応や多要素認証を導入するとともに、情報セキュリティポリシーを改正した。

#### ▶ コロナ禍における対応状況（教育への活用状況）

令和2年度当初から、オンライン教育に関する技術情報や留意事項の教職員への周知、「Teams」「Zoom」の説明会、自宅で受講困難な学生向けの無線利用可能な実習室の整備や、PCのセットアップ支援等迅速な対策を行った。コロナ禍の混乱の中においても、他大学に先駆け遠隔授業を開始し、学生の学びを止めなかった点が評価できる。

## ◆学生委員会

点検・評価の項目
学生生活に関する支援の状況
学生の経済に関する支援の状況
学生の健康に関する支援の状況
学生の就職等進路に関する支援の状況
学生の課外活動に関する支援の状況
障がいのある学生に関する支援の状況
学生の課外活動施設、福利厚生施設及び学生寮の管理運営の状況

### 《特記事項》

#### ▶ コロナ禍における対応状況

##### ・学生の経済に関する支援の状況

本学独自の支援として、教職員（「徳島大学フードバンク」（食料品及び生活用品の配付））のみならず地域社会からの支援（「徳島大学修学支援事業基金」（緊急生活支援金・寄宿料補助金支給））等も受け、学生支援を実施した。

##### ・学生の健康に関する支援の状況

学生相談については、コロナ禍もあり、件数が前年度比1.5倍以上（1月末現在）に増加し、これに対応した。また、多数の学生は対面相談を希望しているが、3人の専任カウンセラーがそれぞれオンライン相談に対応できるよう体制を整え、対応した。

##### ・学生の就職等進路に関する支援の状況

保護者説明会を Web 配信で実施し、アンケートでも来年度も同様の実施方法での希望が多く、オンデマンドでの開催がよかった等好評であった。また、内定率は例年並みの水準を維持できた。

## ◆国際交流委員会

点検・評価の項目
留学生受入の状況
留学生に関する修学支援の状況
留学生に関する生活支援の状況
留学生に対する経済的支援の状況
留学生に関する就職支援の状況

### 《特記事項》

#### ▶ コロナ禍における対応状況（留学生に関する修学支援の状況）

日本語教育はコロナ禍で渡日時期が様々であった留学生に対して、オンラインと対面のハイブリッド式授業を行う等により、語学知識等の学習については例年と同様に行った。また、課外活動が制限される中で、ポスターセッションの場を設ける等の工夫を行い、学修者のモチベーションを高めることができた。

対面授業が少ない状況で、コミュニケーション能力の向上については、今後も引き続き検討していただきたい。

## ◆入学試験委員会

点検・評価の項目
入学者受入方針の認知状況
入学者選抜の実施状況
志願者の状況